

## 第1学年 自然教室の記録

1年生は自然教室を5月29日（月）～6月2日（金）にかけて実施しました。

「見つけよう、僕らの大切なもの」をスローガンに、4泊5日の活動が無事行うことができました。

「さわやか明中生としての成長」「友達をよく知り、協力する態度」「自らが手本となり、リーダーとしての力の育成」「自然と自分の健康を大切に」などの目的をもった様々な活動によって、1年生は確実に成長できたと思います。

活動の一部を以下に写真で紹介します。















### 【自然教室の感想】

○僕は自然教室でいろいろなことを学びました。

中学校になってからの一つ目の大きな行事だったのですが、それまでは、まだあまり中学生になった実感がわいていませんでした。しかし、新しい友達とグループを作り、協力し合って行った自然教室は本当に楽しかったです。

僕が一番成長したと思うところは、仲間とたくさんしゃべれたことです。入学式の時、まだ誰ともしゃべれなかったのに、この2か月でたくさんの人と会話ができるようになりました。

僕が特にながらったところは、飯ごう炊きです。僕はかまどの係になりました。かまどの近くは、とても熱く、煙もとてもすごくて目が痛かったです。しかし、やっていくうちにだいふ慣れ、みんなで協力し合ってできたごはんは、とてもおいしかったです。

活動を通して、こんなにもたくさんの友達をつくることができたことが、僕の一番の成長だと思いました。これからもこの1年生のメンバーで協力しあっていきたいです。

○自然教室で一番心にのこったことはオリエンテーリングです。最初の方は他の班と一緒に行動していたので、カエル館までみんなで気楽にしゃべりながら行くことができました。しかし、山登りになった時からは、他の班とも離れていきました。自分たちの班だけになった時には、「がんばれ」など声をかけ合ったり、スピードを合わせたり、仲間のために休

けいをとったりなど、みんながみんなのために気をつけてくれました。これが本当の協力なんだと思いました。

班長としての仕事は精いっぱいできたと思います。みんなに連絡を伝えるためにしっかりとメモをとり、分かりやすく話すようにしました。また、私の声が枯れている時は、班員の方が声を出してくれ、とても協力してくれました。

最高の思い出となる自然教室になりました。

○この5日間の自然教室で学んだことが2つあります。

1つ目は、友達の大切さです。いつもの学校生活でも協力する場面はたくさんありましたが、仲間と1日中5日間一緒に生活することは初めてでした。オリエンテーリングで足が進まないとき、「大丈夫?」と待っていてくれたり、ごはんがたくさん残っているときに班のみんなで協力して完食することができました。もし、1人だったら、オリエンテーリングでリタイアしていたと思うし、完食できなかったと思います。

2つ目は家族の大切さです。何気なくいつもそばにいる存在でしたが、自然教室が始まってすぐに違和感を感じました。待っていたらごはんができないこと、注意されないこと、当たり前ですが、自分たちで何でもやらなければいけなくて大変でした。いつもお母さんは、こんな大変な思いをして毎日生活しているんだなと改めて思いました。毎日の生活で欠かせない人が私の見つけた大切なものと気づきました。

これからの生活で周りの人やものに感謝しながら行動していきたいです。

○5日間の自然教室は、とても楽しかったです。ふだんご飯を作ってもらって食べているのは当たり前だと思っていたけれど、自然教室に行き、それは当たり前ではなく、自分たちでやらなければいけないことだと気づくことができました。自炊はとても手がかかり大変でした。野菜などを切るだけでも時間がかかるので、ふだんそれをしてくれるお母さんは、とても大変な思いをして行っていると感じました。また、とてもありがたく、感謝しました。

自分一人では5日間過ごすことができなかったと思います。5日間楽しく過ごすことができたのは、班の子を始め、仲間のおかげです。私が一人では備品を運べなく困っていたら、一緒に運んでくれた仲間。一人では重たくて運べなかった布団を持って来て、手助けしてくれた仲間。そんな人のことを思って行動できる大切な仲間がいたからこそ、ここまでできることができたと思います。

私は、自然教室で大切なものを見つけました。それは、「仲間」です。私はこれからも仲間を大切にしていきたいです。